

経営比較分析表（平成29年度決算）

長野県 長和町

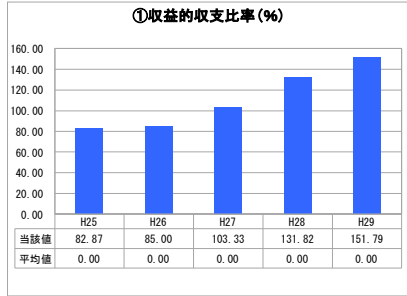
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	簡易排水	J2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	1.07	100.00	3,672

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,223	183.86	33.85
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
66	0.03	2,200.00

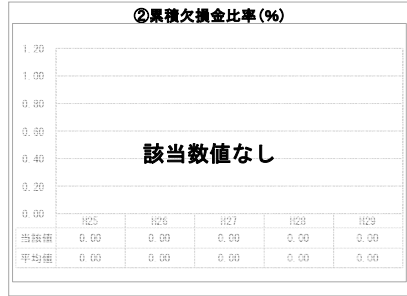
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 平成29年度全国平均

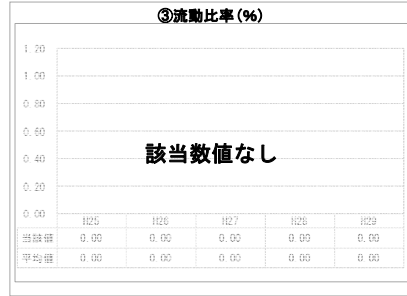
1. 経営の健全性・効率性



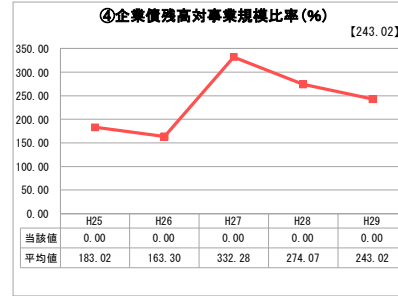
「単年度の収支」



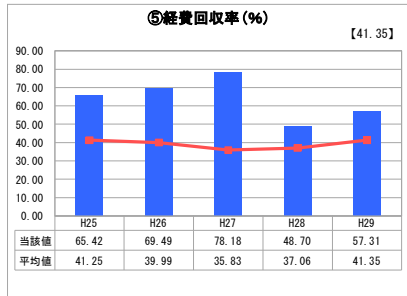
「累積欠損」



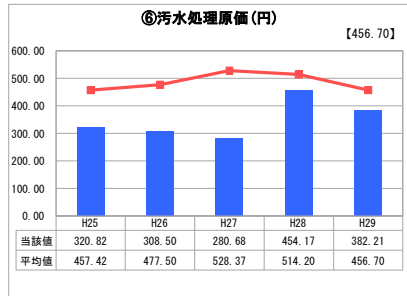
「支払能力」



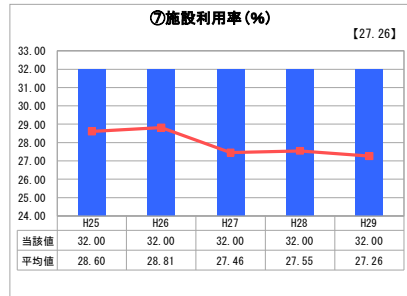
「債務残高」



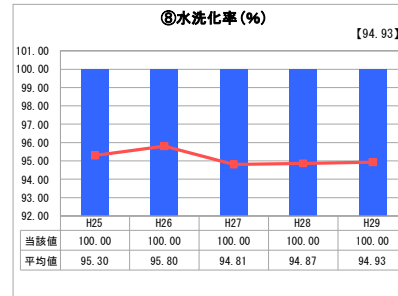
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

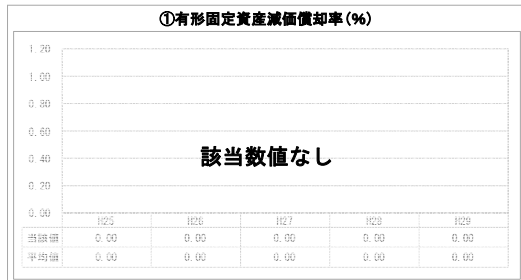


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

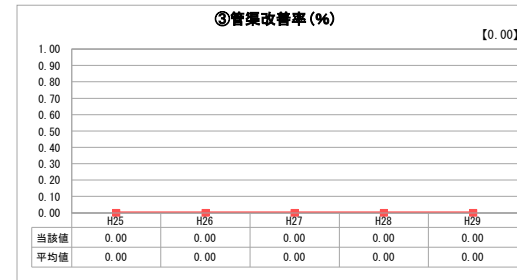
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

処理施設の大きな故障や修繕がなく、主な数値については、類似団体の平均を上回っています。しかし、H28年度以降小規模な修繕を定期的に行っているため、経費回収率の低下及び汚水処理原価が上昇しております。

また、経費回収率は、50%前後を推移しており一般会計からの繰入金に依存しているのが現状です。

簡易排水事業は、事業規模が小さく、水洗化率が100%であり、これ以上の料金収入の増加が見込めないため、維持管理費用の削減等による汚水処理費の抑制に努めていきます。

2. 老朽化の状況について

滝ノ沢処理場、小茂ヶ谷処理場の2処理場を有しており、ここ数年は大きな故障もなく、安定した処理を続けています。

全体総括

大規模な改修が行えないため、計画的な修繕や処理費用の削減を行うなど、適切な維持管理が重要となります。また、人口減少が進んでいくと考えられるため、施設規模の見直しや統合を検討してまいります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。